

## 「滝子商店街」ぶらぶら歩き

写真は大学の西門を出て、滝子商店街の方に向けて撮ったものである。この道は地元では今でも「郡道」と呼ばれている。昭和区を愛する人たちによる手づくりマップ「The SHOWA」によると、昭和区の西部を南北に縦断し、南端は東海道の呼続(南区)、北端は飯田街道の古井の坂(千種区)に通じている。完成は明治 42 年(1909)で、旧制八高とともに発展し、戦前戦後は市バスも走る重要な幹線道路だったが、市電を通すには道幅が狭すぎたため、主要な交通網から取り残されたという。

写真に「本」とあるのは「オリオン書店」という古本屋さんである。八高の時代から開いている歴史ある店で、私も何度か古本を買いあさったが、最近になって店を閉めたようだ。隣の時計屋も閉まったままだ。ここには思い出がある。以前、時計の電池交換のために訪ねたことがある。高齢の店主(確か 90 をかなり超えていたようだ)は、「電気の時計はよくわからんが」と言いながら 1 時間近くかけて交換してくれた。この間に八高時代のこと、郡道や滝子のことについて話が聞け、かえって「得」をした感じであった。

その下は「浅田屋」の写真だが、ここも以前よく訪ねたことがある。ボリューム一杯の「きしめん定食」などをよく食べた。学生たちによると、ここは学生も味とボリュームを求めて食べに行くという。滝子商店街のなかでも、学生たちが最も出入りする店の一つかもしれない。確か「坂東リサーチ」という番組で、うちの学生たちの食事風景が映し出されていた。

その下は文房具の「サカエ商店」と「丸八寿司」の入口の写真である。調査実習で歩いた時に、組合の会長である文房具店に寄ったが、6月一杯で店を閉めるとのことであった。なんとかヒアリングは行うことができたが、学生たちの調査によると、丸八寿司の入口を入ったあたりが、この商店街の「中心」、発祥の地であったという。詳しいことは、別の機会に記すことにしたい。



(7月3日記)